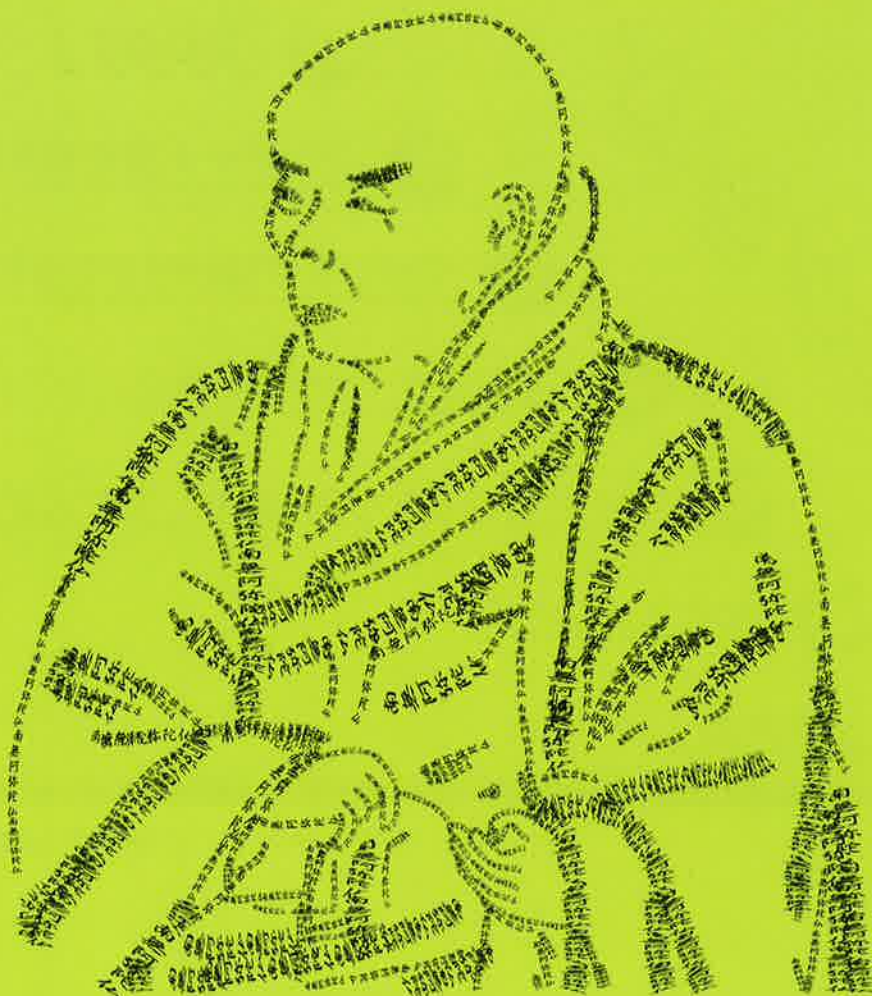
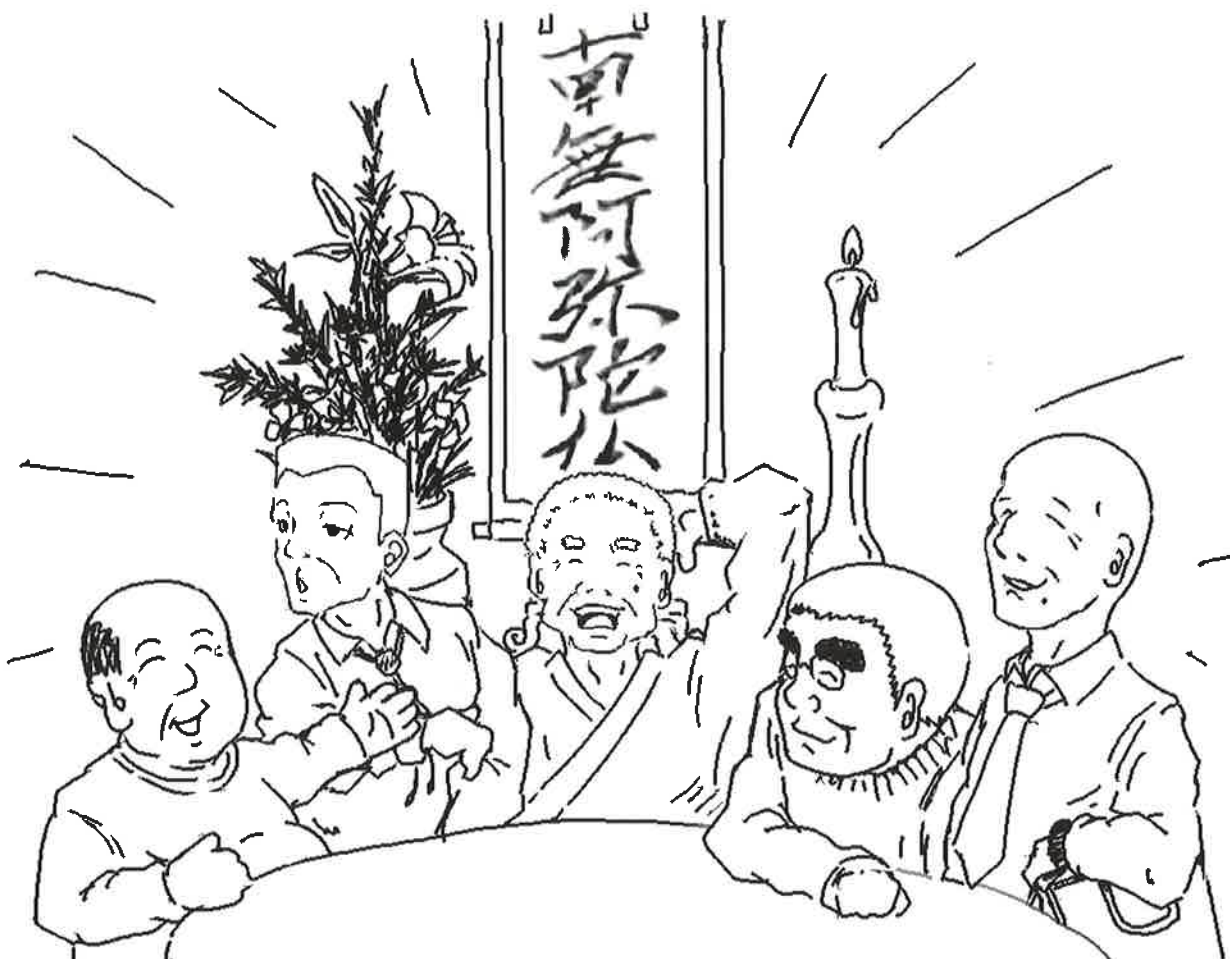


門信徒とともに集ら

こんなことからやってみませんか？

仏教壮年会活動





カット／中島 隆幸

INDEX

1 はじめに

2 アンケート調査結果について

4 気軽に壮年層が集まる会をしませんか？

5 連研をきっかけにしませんか？

6 数ヶ寺合同で壮年会を発足しませんか？

7 単位会登録用紙

8 会則準則

はじめに

浄土真宗本願寺派に於ける仏教壮年会のはじまりは、50年前にさかのぼります。親鸞聖人700回大遠忌を契機としてはじまった門信徒会運動の一環として、仏教壮年会の組織化が叫ばれて半世紀が過ぎました。その間、壮年層の組織化の重要性は十分に認識されつつも、働き盛りの年代層の人たちによる組織づくりの難しさも痛感させられてきました。

先般実施したアンケートの回答にも、壮年層を中心とした行事を実施していない理由として、多忙な壮年層で組織を立ち上げることが困難という回答が多数寄せられました。

因みに、壮年という概念は、どういうもので、また何歳から何歳までを指すのでしょうか。厚生労働省の資料（「健康日本21」など）によりますと、壮年とは、『成人としてもっとも体力気力が充実しているとされる年齢』で、伝統的には25歳から44歳までを壮年期というそうです。この数字を見てどう思われますか？50年前ならこの年齢での組織づくりも考えられたでしょうが、いまこの年代の人たちを集めようとするなら、青少年期からよほどしっかりとした組織づくりをしていかないと、不可能な気がします。

それなら、考え方を少し変えてみてはどうでしょうか。壮年とは成人としてもっとも体力・気力が充実しているとされる年齢と考えるなら、長寿社会になったいま、還暦を過ぎた方々は、仕事で第一線を退いてもまだまだすごく元気です。それなら、60歳代まで壮年の概念を広げてみてはどうでしょうか。実際、宗派においても平成19年に施行された連盟規約の中に年齢制限は設けていません（役員に関しては65歳までと規定）。

教区仏壮連盟のある役員さんがおっしゃいました。「年齢にこだわることなく、今自分は充実している壮年だ、と自分自身で思える人を募って、みんなで壮年会を創り出してほしい。そのためには、住職さんのお声かけが大切なんです。」

いま、お寺の周りには、定年退職したばかりの団塊の世代の方々が、たくさんいるはずです。その世代を中心に、気楽に集まってみるのもいいんじゃないでしょうか。活動内容は、法座活動にとどまらず、ゴルフなどの趣味、一人住まいのお年寄りへの声掛け等の奉仕活動など、幅広く捉えてみんなで考えていけば盛り上がってくるでしょう。名前なんかも、〇〇壮年会というより、みんなで楽しい名前を考えてみてはどうでしょう。

さあ、ご住職さん『一緒に楽しい集いを始めませんか？』の一言の声掛けから、みんなで壮年会を立ち上げましょう！

2011(平成23)年7月 大阪教区基幹運動推進委員会組織育成部

アンケート調査結果について

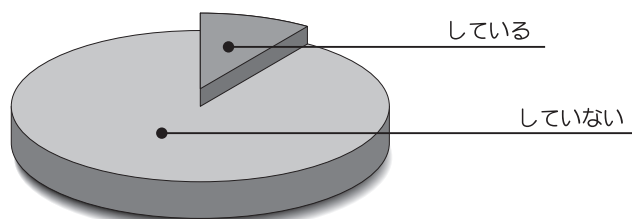
単位会未登録寺院へのアンケート調査集計（回答数241ヶ寺）

壮年層を中心とした活動をしていますか？

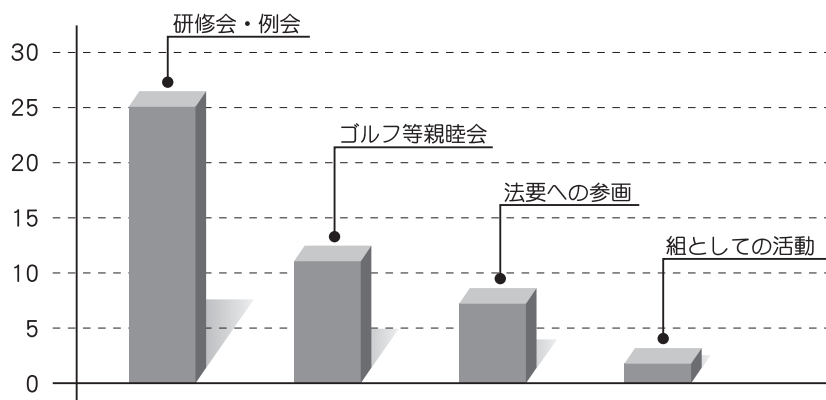
している・・・30ヶ寺

していない・・・211ヶ寺

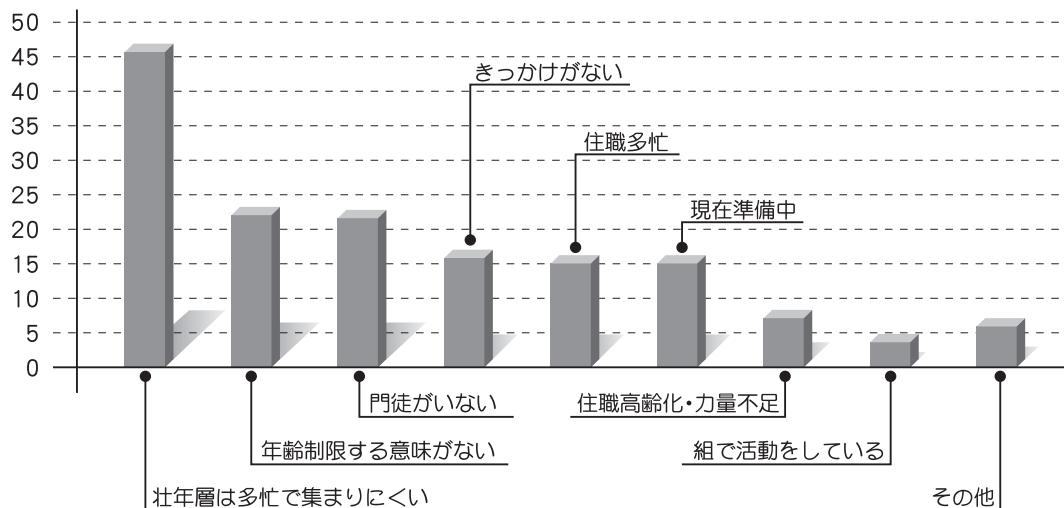
壮年層を中心とした活動



行事内容（複数回答あり）

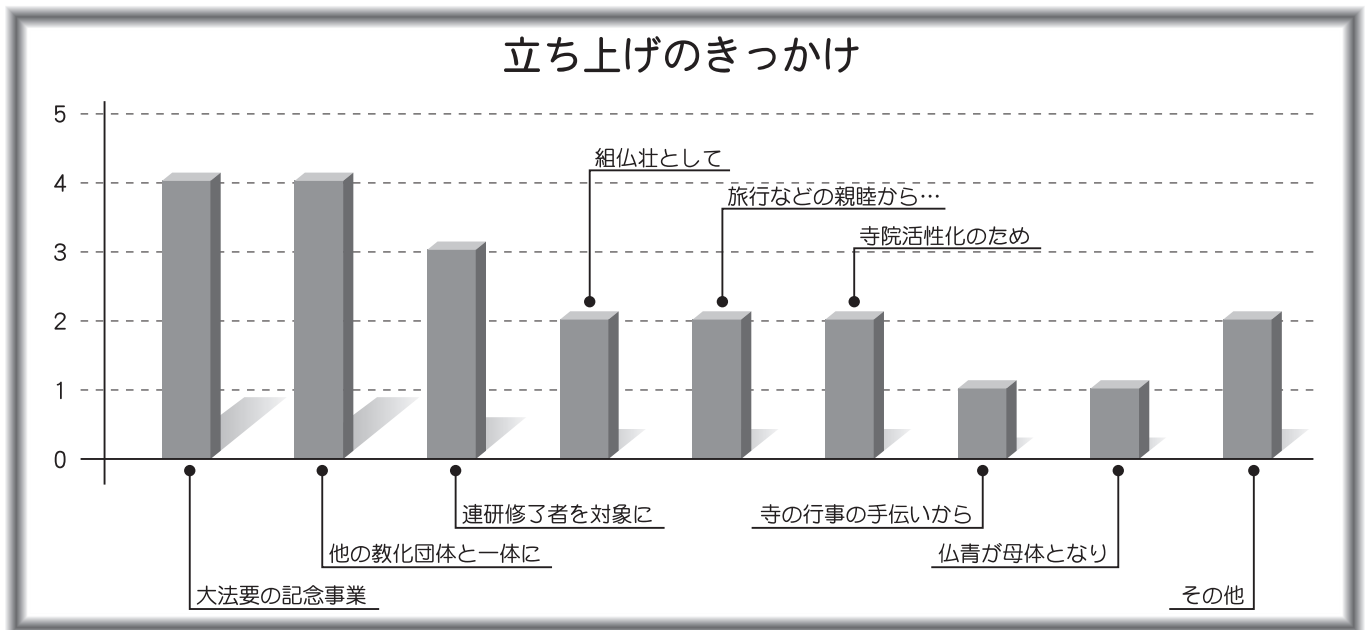


行事をしていない理由（未記入あり）

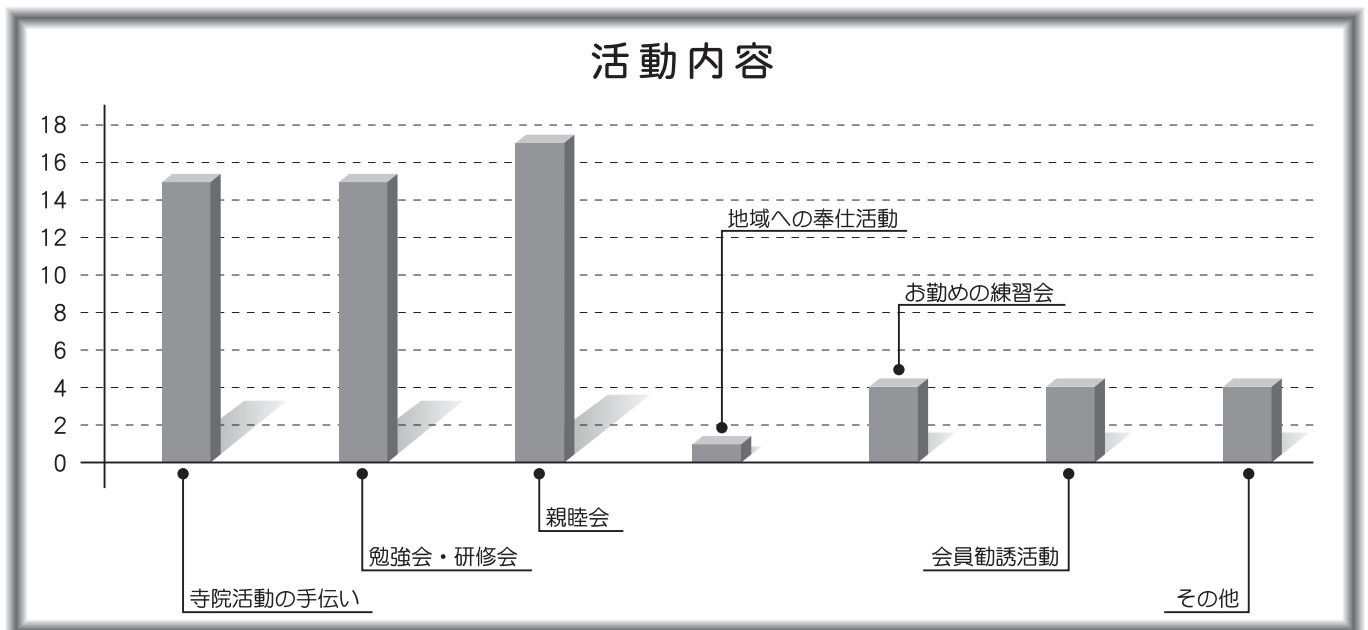


登録単位会へのアンケート調査集計（回答数21単位）

仏教壮年会立ち上げのきっかけは？



活動内容はなんですか？（複数回答あり）



仏壮活動についての意見・要望・悩み等は？

- ☐ 会員の高齢化、会員減少。
- ☐ 仏壮の単位会自体少なく交流できない。
- ☐ 自坊の活動で精いっぱい、教区・本山の活動に参加できない。
- ☐ 仏壮活動は住職の姿勢次第。
- ☐ 女性会員がいても男性中心、仏婦などとの交流が必要。

「とにかくやりましょう!!」 気軽に壮年層が集まる事の出来る会をしませんか?

『壮年層よお寺にいこか!!』

仏教壮年会会則の作り方は最後のページを参考にしてくださいなのですが、とりあえず会則を考えず気軽にお寺に集まる事から始めてみてはどうでしょうか?

参拝者は平均的に女性の方が多いように聞きますが、男性の方が居られますと「活気のあるお寺さんだなあ」と感じます。まず、男性に声をかけてみてはどうでしょうか? 本堂に『男の人集まれ!!』と気分だけでも旗揚げして下さい。

壮年という言葉がネックとなって集まりにくいという事であれば、例えば「男性の集い」という名前で活動しているお寺さんもあります。それぞれの地域特色を活かした集まりやすいネーミングを付けて下さい。そして先ず、阿弥陀さんの前に集うことです。それが、法要法座の参加へとつながっていきます。

「敷居が高すぎて入れなかったが、本堂はみんなの集う楽しいところなんです」
この声を目標に頑張りましょう。

『先ず団塊の世代の方にお声をかけてみませんか?』(ご夫婦一緒にという手もありますよ)

それぞれの経験や趣味など情報交換の場にすることです。はじめは2、3人からでもよいでしょう。年金のこと・政治のこと・どこそこの美味しいお店のこと・息子、娘のことなど。勿論仏教・真宗の勉強会が出来ればしめたものです。とりあえずお寺に入ること・ご縁作りと考えてみてはどうでしょうか?

例えば、世代をこえて写経会をしながらの情報交換(正信偈・讃佛偈などの聖典作りグッズは教区まで)。念珠作りや、ゴルフのコンペの表彰式や音楽・芝居鑑賞など、ご住職や参加者の趣味を活かしたイベントを本堂に集うご縁としてみませんか!



組の連研をきっかけに 仏壮しませんか？

組の壮年会を立ち上げるきっかけとして、連続研修会が挙げられます。連研をすでに何度か実施した組でも、仏壮が結成されていない場合一度仏壮の結成を前提として連研を実施してはいかがでしょうか。連研の対象者を、たとえば30代から60代の男性に絞って呼びかけるのです。そして、修了者全員を壮年会のチャーターメンバー（創立会員）として出発するのです。

実際、この方法で壮年会を立ち上げ、活発な活動を続けている組もあります。それは、連研で2年間いろんなことを話し合う中で、参加者同士が親しくなり、違和感なく壮年会という新しい組織に入っていけるためだと思われます。

これから、この方法を検討される場合、実施された組（茨田組、三郡組等）に尋ねてみてはいかがでしょうか？ きっと、いいヒントになるお話が聞けると思います。



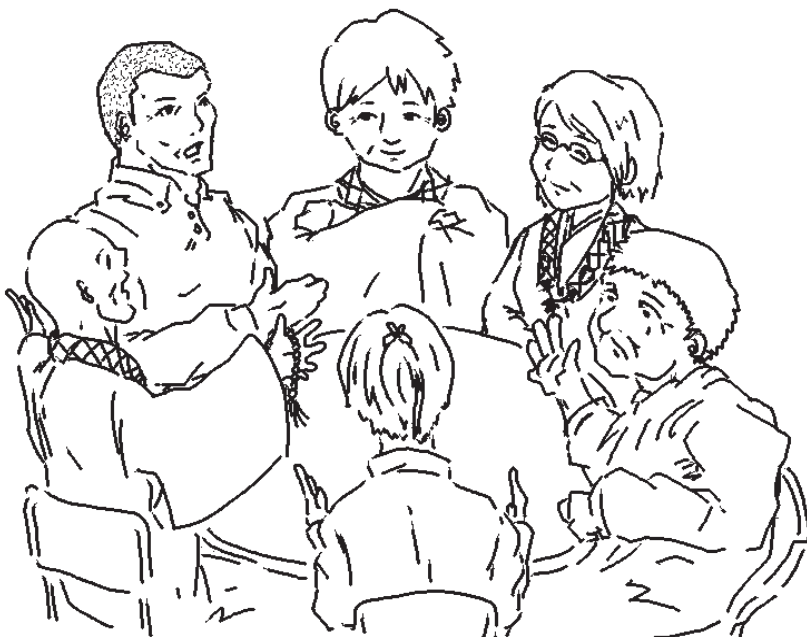
数ヶ寺合同で 壮年層の会をしませんか？

大阪教区は41組ありますが、組の仏教壮年会が組織されているのは、8組と組織率が非常に低い現状であります。これを高めるためには、組内の全寺院の協力を得て組織されるのが理想ですが、各寺院にはそれぞれ事情があり、なかなか全寺院がそろって前向きに協力するというのは、実際むずかしい場合もあると思われます。

そこで、寺院行事や組内行事、宗門の行事など熱心に活動されている寺院の住職を組内から選出し、組長を交えて組の仏教壮年会の組織化について話し合う事が良いと思います。

まず、協力的な数ヶ寺の各寺院から4～5名の門信徒の方を集めて頂き、集まった方たちを中心に幹事を数名選出し、幹事の中で企画立案等話し合い組織化してはどうでしょうか。また、門信徒の方のみで幹事会等をするのではなく、組内住職より仏教壮年会担当住職を選出し、組長と仏壯担当住職が中心となって話し合いをすることが必要であります。

組織が立ち上がるまでは、組長や組内住職も忙しく大変であるが、一度組織化すれば仏教壮年会のメンバーが引っぱり行ってくれるでしょう。日常の法務、寺院の行事等、大変忙しい事とは思いますが、協力的な寺院と会員を選び出して立ち上げ、出発することが大切です。



浄土真宗本願寺派 仏教壮年会連盟 単位登録申請書

今般、下記単位会を仏教壮年会連盟に加盟登録いたしたく、よろしくお取りはからいください。

申請年月日	年 月 日	設立年月日	年 月 日
会 名	代表者名 (会 長)		⑩
所属寺	教区 組 寺	寺院番号 (— —)	
連絡先	〒 — (電話番号: — — /FAX: — —)		

役員名簿	役職名	名 前	年齢	役職名	名 前	年齢
	会 長					
会員数	名 (年 月 日現在)					

以上の通り相違ありませんので、押印いたします。

寺 住 職

⑩

組 組 長

⑩

以上の通り進達いたします。

教区教務所長
 教区仏教壮年会連盟会長

⑩

以下は記入しないでください

決 裁	立案 第 号		教 区		登録番号	
	()年 月 日				寺院番号	単位番号
	起案				—	
	事務局長	事務局次長	賛 事	主 事	録 事	起案責任者
登録年度会費				年度領収書No		

〇〇寺（組） 仏教壮年会会則準則

（名称）

第1条 この会は、「浄土真宗本願寺派〇〇寺（組） 仏教壮年会（以下「仏教壮年会」という。）という。

（目的）

第2条 この仏教壮年会は、仏教壮年の結集を図り、同信の輪を拡げ、宗派の基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）を推進するとともに、〇〇寺（組）護持発展を図ることを目的とする。

（事務所の所在地）

第3条 この仏教壮年会の事務所を、（住所）〇〇寺内に置く。

（加盟登録）

第4条 この仏教壮年会は、浄土真宗本願寺派仏教壮年会連盟および〇〇教区仏教壮年会連盟に加盟登録する。

（会員）

第5条 この仏教壮年会の構成は、第2条の目的に賛同する〇〇寺（組）所属の門信徒たる仏教壮年を会員として構成する。

（事業）

第6条 この仏教壮年会は、次の各号に掲げる事業を行う。

- 一 教義を深めるために、例会、研修会などを開催すること
- 二 教化組織（門徒総代会・仏教婦人会・その他）と連絡提携して、伝道教化活動を推進すること
- 三 寺院行事に積極的に参加すること
- 四 組・教区連盟の行事に積極的に参加すること
- 五 前各号のほか、目的達成に必要なこと

（役員）

第7条 この仏教壮年会に、次の役員を置く。

- 一 会 長 1 人
- 二 副会長 1 人
- 三 幹 事 若干人
- 四 会 計 1 人

2 役員は、総会において互選し、住職が任命する。

3 役員の任期は、3年とする。但し、再任を妨げない。

- 4 会長は、この仏教壮年会を代表し、事業を統理する。
- 5 副会長は、会長を補佐して、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 6 幹事は、会長の命を受けて、会務を分担し、処理する。
- 7 会計は、この仏教壮年会の会計事務をつかさどるものとする。
- 8 役員は、役員会を組織して、この仏教壮年会の事業を執行し、臨時緊急の必要がある事項について審議決定する。

(総会)

第8条 総会は、次の各号に掲げる事項について審議・議決する。

- 一 役員の選出に関する事
 - 二 活動・事業・行事に関する事
 - 三 予算・決算、その他会計に関する事
 - 四 会則の変更に関する事
 - 五 前各号のほか、必要な事
- 2 総会は、毎年1回開催するものとし、住職の承認を得て、会長が招集する。但し、必要に応じて、臨時に招集することができる。
 - 3 総会は、会員をもって、組織する。
 - 4 総会の議長は、開催の都度、互選によって決める。
 - 5 総会の議事は、出席者の過半数をもって決める。但し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(経費)

第9条 この仏教壮年会の経費は、会費、助成金、事業収入および寄付金等をもって、これにあてる。

(会費)

第10条 会員は、この仏教壮年会の運営に必要な経費を、会費として負担するものとする。

(会計年度)

第11条 この仏教壮年会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

附則

- 1 この会則は、平成 年 月 日から施行する。



大阪教区基幹運動推進委員会